

なんだ・かんだ

◆ 天気を制御する技術 ◆

今年は台風の多い年になりそうです。ウェザーニューズの予測では、今年の台風発生数は平成 25.1 個を上回り約 28 個、日本への接近数も平成 11.7 個に対し約 14 個です。すでに上半期だけで 8 個発生。1951 年以降の平均 4.4 個の約 1.8 倍という異例のペースです。過去上半期に台風発生数が多い年は年間を通じて発生数が多い傾向があるそうです。そして各地で台風による水害や土砂崩れなどに依る災害が頻発します。

このような状況を考えると、防災だけでなく「災害そのものを小さくする技術」が発明されないかと考えてしまいます。以前中国で北京オリンピックの開会式前に人工的に雨を降らせて、開会式での降雨を避けることが出来たという話も聞いたことがあります。

日本でも千葉大学や富山大学の研究グループが、今年 1 月に上空でドライアイス散布して雨の発生源である人工的な雲を発生させることに成功しているそうです。

甚大な災害をもたらす線状降水帯が発達する前に海上で雨を降らせて大量の水蒸気を消費させ、陸上での豪雨を軽減することが人工降雨の目的です。もし海上で一部の雨を先に降らせることができれば、都市部に到達する頃には降水量が減り、河川の氾濫等の水害リスクを下げられる可能性があります。

東京大学や大阪大学などのシミュレーションでは、台風の中心から約 250km 離れた場所の大気中の水蒸気を 1% 程度減少させるだけで、中心気圧を約 3 ヘクトパスカル上昇させ、最大風速を約 5m/s 低下させられる可能性が示されています。小さな変化に思えますが、台風は非常に複雑な自然現象であり、わずかな条件の違いが勢力に大きな影響を与えることがあるそうで、最大風速が 5m/s 低下すれば、住宅被害や停電、高潮などの被害規模を一定程度抑えられる可能性があるということです。

一方で、この技術には課題も多くあります。雲の発生をピンポイントで予測できなければならないのですが、人工衛星画像には時間差があり十分ではありません。このため、AI を活用した雲の解析や高精度な気象シミュレーションの開発が進められているようです。

もう一つの課題は、もし人工降雨によってある地域の被害を減らした結果、別の地域で雨量が増えた場合その責任は誰が負うのか。また、国境を越えて気象へ影響を与える可能性も否定できません。

現時点では台風を自由に弱めたり、豪雨を完全に防いだりする技術は実用化されていませんが、少量の介入で台風を弱められる可能性が見えてきています。これまで夢物語だった「気象を操ることによる減災」が現実へ近づいている様に思います。

2021 年 7 月の台風 8 号によって、黄瀬川に掛かる「黄瀬川大橋」の橋脚が沈下し崩落しました。その時、自宅の前の狩野川は川幅いっぱいまで広がり、300m 程上流にある御成橋の橋脚の上部まで増水し、もう少しで決壊かと本当に心配しました。

台風による災害を未然に防ぐことが出来る日はそう遠くないと思います。技術の進歩に期待しています。



■ 令和 8 年度安全大会 ■

6 月 25 日に、当社の安全大会を開催いたしました。昨年度は当社において労災事故は「0」でした。本年度も気を引き締めて安全第一で工事施工に当たらなければいけません。

今年度の大会は 33 社、37 名の協力業者様にご参加を頂きました。安全の重点項目を確認後、先日開催された沼津市建設業協会の安全教育の資料を使った講義を行い、その後特に熱中症対策を中心に「信じられないヒューマンエラー」等の DVD による安全教育セミナーを開催しました。最後に、今年 1 年間の労災事故「0」達成を誓い閉幕しました。

夏の花火大会

遂に暑い夏がやってきました。21日には、愛知と岐阜で最高気温が40度以上の「酷暑日」となり、4月の命名以降で初めて観測されました。これからさらに暑い日が続く様で、「熱中症警戒アラート」も発令され、東京では21日に都内で熱中症の症状で男女合わせて287人が搬送され、現在の集計方法となった2022年以降で最多となりました。

そしてこの暑い最中、今週末は沼津で花火大会が開催されます。この沼津の夏を彩る「狩野川花火大会」は、街中で開催される花火大会として東海地方随一の規模と言われ非常に有名です。駅や商店街からすぐの市街地を流れる狩野川の河川敷から花火が打ち上げられ、大迫力の光と音を間近で体感できます。私の家からも見えるのですが、花火の炸裂音が窓ガラスに響いて、音と振動で初めて見た方は驚きます。

昨今、各地で夏祭りや花火大会を、真夏の猛暑や大雨のリスクを考慮し開催時期の見直し相次いでいます。今後沼津の夏祭りも開催時期が変更されるかもしれません。人命の安全確保が優先だと思いますが、異常気象により人間の生活も変化せざるを得ません。

代表取締役 服部 徹一郎

社員ブログ

● 基本の大切さを再認識 ● 営業2課 小坂真弘

今年からゴルフレッスンを受けながらゴルフの上達に取り組んでいますが、改めて感じるのは「基本の大切さ」です。

練習場ではうまくできているつもりでも、実際のコースに出ると同じようなスイングができず、思うような結果につながらないことがほとんどです。

レッスンでは特に、スイング前の初動までの所作と、打ち終わった後のフィニッシュを意識するよう指導を受けています。ボールを打つ瞬間だけではなく、構えから始動、そしてフィニッシュまでの一連の動作を正しく行うことが、安定したショットにつながると学びました。

また、コーチからは「正しい動作は約1,000回繰り返して初めて身につく」と教わりました。一度理解しただけでは自分のものにはならず、何度も反復練習することで無意識にできるようになるとのことです。

今後も基本を疎かにせず、一つひとつの動作を丁寧に確認しながら練習を続けていきたいと思っています。

仕事もゴルフも地道な積み重ねが結果につながると信じ、売上・スコアアップを目指して取り組んでいきます。



本レターのご提供に付きまして、ご不要・ご迷惑という方に付きましては、その旨ご一報頂きたいと思っております。次回からの発送を中止させていただきます。

株式会社チキリ
静岡県駿東郡清水町卸団地 73

Tel 055-971-9610 Fax 055-973-1534

E-mail gen@chikiri.com URL <http://www.chikiri.com/>